

**2011年
全日本選手権フォーミュラ・ニッポン**

**MEDIA
INFORMATION**

2011年3月7日

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

 **NINKI-ICHI**
人気酒造

2011年フォーミュラ・ニッポンのみどころ ①

■2010年シーズンレビュー

2010年は、シーズン途中で『Swift FN09』にパワーステアリングシステムが新たに装備され、ドライバーは腕力のみでなく繊細なテクニックを用いてマシンをコントロールできるようになり、マシンの持つ性能を存分に引き出してレースを戦えるようになった。これにより2010年シリーズは混戦となり、アンドレ・ロツテラー選手が39ポイント、J.P.デ・オリベイラ選手が38.5ポイント、ロイック・デュバル選手が37ポイント、小暮卓史選手が35ポイントで最終レースを迎えるという大激戦となったが、オリベイラ選手が最終戦第2レースを制し、初の王座を奪取するという結末を迎えた。

■2011年シーズンプレビュー

『日本一速い男』の称号を争うため『トヨタ&ホンダ製新型エンジン』を搭載した新型シャシー『Swift FN09』が2009年に全日本選手権フォーミュラ・ニッポンに現れて3シーズン目が始まるようとしている。

2011年シリーズの主導権をまず握るのは、昨シーズンのチャンピオンであるオリベイラ選手と、チャンピオンを激しく争ったロツテラー選手、及び小暮選手の3人となるだろう。この3人は引き続き昨年と同じチームから参戦するので安定感に揺るぎはない。オリベイラ選手のパートナーは平手晃平選手。チーム インパルは今シーズン、唯一昨年から体制をそのまま引き継ぐチームで、万全の体制である。

惜しくも、09年チャンピオンであり昨年もチャンピオン争いに加わったデュバル選手は新天地を求め今シーズンはシリーズに参戦しない。このままでは、エンジンメーカーによるチャンピオン争いはトヨタ陣営2人、ホンダ陣営1人とバランスが崩れるが、塚越広大選手がホンダ陣営で頭角を現してきそうだ。ホンダの秘蔵っ子、塚越選手はこれまで光る走りを見せながら安定性に欠けランキングでは低迷してきたが、F・ニッポン3年目の今年、ドコモチーム ダンディライアン レーシングへ移籍してデュバル選手の後釜に座る。チームメイトとなる伊沢拓也選手は同じホンダの人材育成ドライバーでチーム3年目、シーズンオフのテストでも好タイムを記録しており、期待は高まる。

また、塚越選手を追いかけホンダの人材育成プログラムで育ち、昨年F・ニッポンにデビューした山本尚貴選手も注目株だ。昨年はナカジマ レーシングで小暮選手とともに戦い、ルーキー・オブ・ザ・イヤーに輝く活躍を見せた。今年はチーム 無限に移籍、チームを牽引する立場に立って真価が問われるシーズンを迎えることになる。トヨタ陣営では、昨年初優勝を遂げた大嶋和也選手が、チーム ルマンへ移籍してどんな戦いぶりを見せるかが気になるところだ。

■新人6人と新チームの参戦

今シーズンの注目は、6名もの新人が参戦することである。とくに09年までウイリアムズでF1グランプリを戦っていた中嶋一貴選手の参戦に注目だ。中嶋一貴選手は04年と05年、全日本F3選手権に参戦して05年はシリーズ2位になった後、ヨーロッパに渡っているので丸5年ぶりの国内レース出走となる。所属するのは、昨年強さを見せたペトロナス・チーム・トムスで、トヨタ・エンジンを背負う。一方、中嶋一貴選手の弟である中嶋大祐選手も、日本へ帰ってきてフォーミュラ・ニッポンにデビューする。中嶋大祐選手は昨年までイギリスF3で腕を磨いていた。所属するのは父親である中嶋悟監督率いるナカジマ レーシングで、ホンダ・エンジンを用いる。この兄弟対決、どんな展開を見せるのか興味深い。

その他のルーキーとしては、昨年の全日本F3Cクラスチャンピオンである国本雄資選手（プロジェクト・ミュー／セルモ・インギング）、昨年全日本F3Nクラスチャンピオンで鈴鹿700kmレースでポールポジションを取って話題となった小林崇志選手（リアル レーシング）、SGC by KCMGから出走するアレクサンドレ・インベラトリー選手。新チームとしては、土屋武士監督が率い石浦宏明選手を走らせるチーム キグナス スノコ、全日本F3を6シーズン戦い、昨年2勝を上げた嵯峨宏紀選手とともにフォーミュラ・ニッポンにデビューするル・ボーセモータースポーツが参戦、シリーズに吹き込む新しい風になって見どころをつくってくれるはずだ。

2011年フォーミュラ・ニッポンのみどころ ②

■レースフォーマット

大会	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	FSC ※1
日程	4月16日(土) ~17日(日)	5月14日(土) ~15日(日)	6月4日(土) ~5日(日)	7月16日(土) ~17日(日)	8月6日(土) ~7日(日)	9月24日(土) ~25日(日)	11月5日(土) ~6日(日)	11月12日(土) ~13日(日)
会場	鈴鹿サーキット	ツインリンクもてぎ	オートポリス	富士スピードウェイ	ツインリンクもてぎ	スポーツランドSUGO	鈴鹿サーキット	富士スピードウェイ
予選方式	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	ノックアウト	調整中
決勝レース方式	220km	280km	280km	250km	250km	250km	2レース ※2	調整中
タイヤ交換義務付け	あり	あり	あり	3月中に 決定予定	3月中に 決定予定	3月中に 決定予定	第2レース のみあり	調整中
備考	2&4レース Enjoy Honda 併催 ※3		2&4レース	スーパーサンデー ※4 わくわくトヨタ (仮称)併催	Enjoy Honda 併催 ※3	わくわくトヨタ (仮称)併催		S-GTと併催

※1 「FUJI SPRINT CUP 2011」

※2 Rd.7鈴鹿大会は1レース2レース制により、予選ポール&2連勝で合計18ポイントを獲得することができる。

※3 Enjoy Hondaとは、「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなで楽しむイベント。

※4 スーパーサンデーとは、日曜日に予選・決勝を行うレース。

2011年のレースフォーマットは、よりエキサイティングなレースにするためチーム戦略を重視し、タイヤ交換タイミングや、燃料補給戦略などがキーポイントとなる中距離レース(250~280km)を基本フォーマットとした。また、本年は、2&4レースを開幕戦鈴鹿大会と第3戦オートポリス大会の2大会で行い、Enjoy Honda、わくわくトヨタ(仮称)などメーカー主導イベント併催大会を3大会設定するなど、よりお客様に楽しんでいただける大会作りを目指して行く。詳細は上図参照。

※Rd.4富士大会の日曜予選・決勝方式、Rd.7鈴鹿大会の2レース制は継続とした。

■ポイントシステム

		ポール ポジション	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位 以下
1大会1レース		1	10	8	6	5	4	3	2	1	0
最終戦 1大会 2レース	第1レース	1	5+3 ※1	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0
	第2レース	1	5+3 ※2	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0

※1、※2 最終戦2レース制に限り第1レース、第2レースの勝者に通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

レース規則の変更点

全日本選手権フォーミュラ・ニッポン統一規則の主な変更点

第24条 プラクティスセッション(公式予選等) 1.2) / 3.3) / 3.4)

Q1:20分間

Q2:10分間⇒7分間に変更

Q3:10分間⇒7分間に変更

※要点のみ記載

第24条 プラクティスセッション(公式予選等) 3.7)

競技長はコースの安全性の確保または、清掃、車両の回収のために必要な場合には、赤旗を表示することにより公式予選を中断することができる。公式予選中断の場合、予選時間の**延長または短縮**は競技会審査委員会が決定する。

(**黒太字下線部**が変更点)

※2011年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン統一規則より抜粋

本変更は、予選Q2、Q3序盤での走行が少ない状態を防ぎ、且つ、より公平な予選が行われることを目的に変更された。

FN09 主要諸元

■エンジン：ホンダ社製、トヨタ社製

排気量	3,400cc	
出力	600/hp+ α	
気筒数	V型8気筒	バンク角90度
吸気	自然吸気	
重量	120kg	エアボックス、エアフィルター込み
回転数制限	10,700rpm	2011年回転数制限はオーバーテイクシステム作動時
回転数制限方式	ECU	

■シャシー：スウィフト社製

全長	4,775mm	
ホイールベース	3,000mm	
車両最大幅	2,000mm	車両中心線からタイヤ外側までの実測1,000mm以内
車体最大幅	1,600mm	ウイングを除く、ボディワークの最大幅
フロントウイング幅	1,800mm	
リアウイング幅	1,220mm	
燃料タンク容量	115リットル	車体サイドに設ける給油口から給油可能な最大値
ギアボックス	リカルド社製6速 (パドルシフト)	
ブレーキ	PFC社製6ピストン	
ステアリングシステム	KYB社製 電動パワーステアリング	

■タイヤ：ブリヂストン社製 ワンメイク

フロントタイヤ	235/55R13	
リアタイヤ	340/620×13	

2011年 エントリーリスト

[2011年3月7日現在]

チーム	No.	ドライバー	年齢	出身地	エンジン
TEAM IMPUL 監督：星野 一義	1	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	29	ブラジル	TOYOTA RV8K
	2	平手 晃平 Kohei Hirate	24	日本/愛知県	
KONDO RACING 監督：近藤 真彦	3	TBN			TOYOTA RV8K
Team LeMans 監督：未 定	7	大嶋 和也 Kazuya Oshima	23	日本/群馬県	TOYOTA RV8K
Team KYGNUS SUNOCO 監督：土屋 武士	8	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	29	日本/東京都	TOYOTA RV8K
REAL RACING 監督：金石 勝智	10	小林 崇志 Takashi Kobayashi	23	日本/広島県	HONDA HR10E
TEAM 無限 監督：手塚 長孝	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	22	日本/栃木県	HONDA HR10E
SGC by KCMG 監督：土居 隆二	18	アレクサンドレ・インペラトリー Alexandre Imperatori	23	スイス	TOYOTA RV8K
NAKAJIMA RACING 監督：中嶋 悟	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	22	日本/愛知県	HONDA HR10E
	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	30	日本/群馬県	
Project μ/cerumo-INGING 監督：立川 祐路	33	国本 雄資 Yuji Kunimoto	20	日本/神奈川県	TOYOTA RV8K
PETRONAS TEAM TOM'S 監督：舘 信秀	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	29	ドイツ	TOYOTA RV8K
	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	26	日本/愛知県	
DOCOMO TEAM DANDELION RACING 監督：村岡 潔	40	伊沢 拓也 Takuya Izawa	26	日本/東京都	HONDA HR10E
	41	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	24	日本/栃木県	
Le Beausset Motorsports 監督：坪松 唯夫	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	27	日本/愛知県	TOYOTA RV8K

ホンダエンジン使用チーム：4チーム6台
トヨタエンジン使用チーム：8チーム10台
全車ブリヂストン製タイヤを使用

ドライバープロフィール ①

1 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

Joao Paulo de Oliveira

TEAM IMPUL

生年月日 1981年7月13日
出身地 ブラジル
身長 173cm
体重 66kg
血液型 A型



2001 ドイツF3選手権 シリーズ7位
2002 ドイツF3選手権 シリーズスポット参戦
2003 ドイツF3選手権 シリーズチャンピオン
2004 全日本F3選手権 シリーズ2位
2005 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2006 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ15位
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ10位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ14位
2009 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
WTCCインディペンデントクラス スポット参戦
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ10位

2 平手 晃平

Kohei Hirate

TEAM IMPUL

生年月日 1986年3月24日
出身地 愛知県
身長 171cm
体重 63kg
血液型 O型



2003 イタリア・フォーミュラルノー シリーズ8位
2004 イタリア・フォーミュラルノー シリーズ2位
F3ユーロシリーズ・スポット参戦
2005 F3ユーロシリーズ シリーズ12位
F3マカオ 15位
2006 F3ユーロシリーズ シリーズ3位
F3マカオ 27位
2007 GP2シリーズ シリーズ19位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ15位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ14位
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ12位

3 TBN

KONDO RACING

生年月日
出身地
身長
体重
血液型

7 大嶋 和也

Kazuya Oshima

Team LeMans

生年月日 1987年4月30日
出身地 群馬県
身長 170cm
体重 62kg
血液型 A型



2002 全日本カート競技選手権FSAクラス 参戦
2003 FTRS育成プログラム
2004 ESSOフォーミュラトヨタ シリーズ2位
2005 ESSOフォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン
2006 全日本F3選手権 シリーズ2位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ15位
2007 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
SUPER GT(GT300クラス) シリーズチャンピオン
第54回マカオグランプリ 3位
2008 ユーロF3選手権参戦 シリーズ19位
第55回マカオグランプリ 15位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ6位

ドライバープロフィール ②

8 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

Team KYGNUS SUNOCO

生年月日 1981年4月23日
出身地 東京都
身長 178cm
体重 70kg
血液型 AB型



2003 フォーミュラトヨタ シリーズ4位
2004 フォーミュラトヨタ シリーズ6位
2005 フォーミュラトヨタ シリーズ3位
GC-21 シリーズチャンピオン
2006 全日本F3選手権 シリーズ9位
2007 全日本F3選手権 シリーズ4位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズチャンピオン
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ15位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ6位

10 小林 崇志

Takashi Kobayashi

REAL RACING

生年月日 1987年11月8日
出身地 広島県
身長 179cm
体重 62kg
血液型 B型



2003 SRS-K(鈴鹿サーキットレーシングスクールカート)
鈴鹿選手権シリーズカートレース・RS0クラス シリーズ2位
2004 スポーツランドTAMADA・PRDクラス シリーズ2位
2005 SRS-Fスカラシップ(フォーミュラドリーム) /
フォーミュラドリーム第8戦11位
2006 フォーミュラチャレンジ・ジャパン参戦 シリーズ9位
2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン参戦 シリーズ8位
2008 フォーミュラチャレンジ・ジャパン参戦 シリーズ9位
2009 全日本F3選手権Nクラス シリーズ4位
2010 全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン
SUPER GT(GT500クラス) Rd.6 スポット参戦
ポールポジション獲得

16 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

TEAM 無限

生年月日 1988年7月11日
出身地 栃木県
身長 164cm
体重 63kg
血液型 B型



2002 全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003 ARTA(AUTOBACS RACING TEAM AGURI)加入
全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004 FIK イタリアン オープン マスターズFAクラス シリーズ29位
CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005 FIK イタリアン オープン マスターズFAクラス シリーズ5位
CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ポルトガル大会12位
2006 SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクールフォーミュラ)
2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
2008 全日本F3選手権 シリーズ5位
2009 全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
プロ・スポーツ大賞新人賞獲得

18 アレクサンドレ・インペラトリー

Alexandre Imperatori

SGC by KCMG

生年月日 1987年4月19日
出身地 スイス
身長 174cm
体重 63kg
血液型 O型



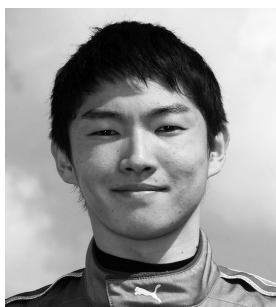
2003 フォーミュラキャンパス スーパーファイナリスト /
ミゲールスカラシップ
2004 アジアフォーミュラ・ルノーに3レース出場 優勝1回
2006 中国フォーミュラ・ルノー シリーズチャンピオン
アジアフォーミュラ・ルノー シリーズ2位
2007 中国フォーミュラ・ルノー シリーズ2位
ワールドシリーズ・by・ルノーテスト参加
2008 全日本F3選手権Nクラス シリーズ2位
A1GP スイスチーム ルーキードライバー
2009 全日本F3選手権Nクラス シリーズ3位
A1GP スイスチーム ルーキードライバー
2010 全日本F3選手権Cクラス シリーズ5位
第57回マカオGP参戦 総合12位

ドライバープロフィール ③

31 中嶋 大祐
Daisuke Nakajima

NAKAJIMA RACING

生年月日 1989年1月29日
出身地 愛知県
身長 166cm
体重 58kg
血液型 A型



2006 鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)入校
成績優秀者としてスカラシップを獲得
2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位(優勝4回)
2008 全日本F3選手権参戦
2009 英国F3選手権 シリーズ7位
2010 英国F3選手権 シリーズ11位

32 小暮 卓史
Takashi Kogure

NAKAJIMA RACING

生年月日 1980年8月1日
出身地 群馬県
身長 176cm
体重 65kg
血液型 B型



2002 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2003 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位
2004 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
2005 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2006 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ12位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン

33 国本 雄資
Yuji Kunimoto

Project μ/cerumo・INGING

生年月日 1990年9月12日
出身地 神奈川県
身長 168cm
体重 58kg
血液型 B型



2004 全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ7位
2005 全日本カート選手権ICAクラス東地域チャンピオン /
全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ3位
2006 全日本カート選手権 FAクラス シリーズ8位
2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位
フォーミュラトヨタ スポット参戦
2008 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン
マカオグランプリ フォーミュラBMWクラス5位
2009 全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2010 全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位

36 アンドレ・ロッテラー
Andre Lotterer

PETRONAS TEAM TOM'S

生年月日 1981年11月19日
出身地 ドイツ
身長 184cm
体重 76kg
血液型 A型



2003 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
2004 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位
全日本GT選手権参戦 シリーズ8位
2005 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2006 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2007 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位

ドライバープロフィール ④

37 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

PETRONAS TEAM TOM'S

生年月日 1985年1月11日
出身地 愛知県
身長 175cm
体重 62kg
血液型 A型



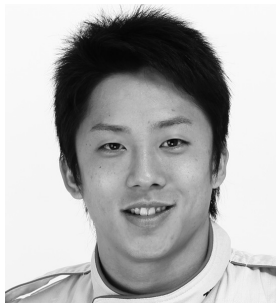
1998 鈴鹿選手権シリーズICAクラス シリーズ2位
1999 鈴鹿選手権シリーズICAクラス シリーズチャンピオン
2000 鈴鹿選手権シリーズFAクラス シリーズ2位
2001 全日本カート選手権FAクラス シリーズ7位
2002 全日本カート選手権FAクラス シリーズ3位
2003 フォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン(3勝)
2004 全日本F3選手権参戦 シリーズ5位(2勝)
2005 全日本F3選手権 シリーズ2位
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ8位
2006 F3ユーロ選手権 シリーズ7位(1勝)
2007 GP2シリーズ参戦(フランスDAMS) シリーズ5位
AT&Tウィリアムズテストドライバー
F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008 F1世界選手権参戦(AT&Tウィリアムズ) シリーズ15位
2009 F1世界選手権参戦(AT&Tウィリアムズ) シリーズ20位

40 伊沢 拓也

Takuya Izawa

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

生年月日 1984年6月1日
出身地 東京都
身長 168cm
体重 59kg
血液型 B型



2003 フォーミュラルノー ドイツシリーズ シリーズ7位
2004 フォーミュラドリーム シリーズ3位
フォーミュラルノードイツ選手権スポット参戦9位
2005 フォーミュラドリーム シリーズ4位
2006 全日本F3選手権 シリーズ6位
スーパー耐久十勝24時間レースクラス優勝
2007 全日本F3選手権 シリーズ6位
マカオF3 16位
スーパー耐久十勝24時間レースクラス優勝
2008 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ2位
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位

41 塚越 広大

Koudai Tsukakoshi

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

生年月日 1986年11月20日
出身地 栃木県
身長 172cm
体重 65kg
血液型 AB型



2003 全日本カート選手権FSAクラス シリーズチャンピオン
2004 フォーミュラドリーム(4戦3勝 年間最多勝) シリーズ5位
F4西日本シリーズ チャンピオン
鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ 首席卒業
2005 フォーミュラドリーム(全戦優勝) シリーズチャンピオン
全日本F3選手権参戦
2006 全日本F3選手権 シリーズ5位
2007 全日本F3選手権 シリーズ5位
第54回マカオグランプリ 2位
2008 ユーロF3選手権参戦 シリーズ7位
2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ5位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ3位

62 嵯峨 宏紀

Koki Saga

Le Beausset Motorsports

生年月日 1983年4月25日
出身地 愛知県
身長 167cm
体重 62kg
血液型 O型



2002 フォーミュラトヨタシリーズ参戦開始
2003 フォーミュラトヨタシリーズ ランキング7位
2004 GC21 シリーズチャンピオン
フォーミュラトヨタシリーズ ランキング5位(優勝1回)
2005 全日本F3選手権 シリーズ13位
2006 全日本F3選手権 シリーズ11位
2007 全日本F3選手権 シリーズ11位
2008 全日本F3選手権 シリーズ7位
2009 全日本F3選手権 Cクラス シリーズ6位
2010 全日本F3選手権 Cクラス シリーズ4位(優勝2回)

レースカレンダー

■ 大会

ラウンド	開催サーキット	日程
第1戦	鈴鹿サーキット	4月16日(土)~17日(日)
第2戦	ツインリンクもてぎ	5月14日(土)~15日(日)
第3戦	オートポリス	6月4日(土)~5日(日)
第4戦	富士スピードウェイ	7月16日(土)~17日(日)
第5戦	ツインリンクもてぎ	8月6日(土)~7日(日)
第6戦	スポーツランドSUGO	9月24日(土)~25日(日)
第7戦	鈴鹿サーキット	11月5日(土)~6日(日)
FSC ※	富士スピードウェイ	11月12日(土)~13日(日)

※ [FUJI SPRINT CUP 2011]

■ 公式合同テスト

	開催サーキット	日程
第1回	鈴鹿サーキット	3月11日(金)~12日(土)
第2回	富士スピードウェイ	3月28日(月)~29日(火)
第3回	富士スピードウェイ	11月28日(月)~29日(火)

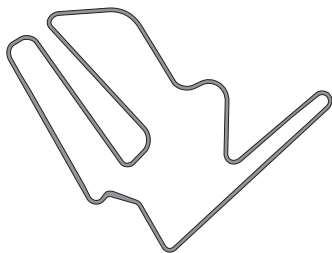
鈴鹿サーキット

第1戦 4月16日(土)・17日(日) / 第7戦 11月5日(土)・6日(日)
所在地 : 〒510-0295 三重鈴鹿市福生町7992
問い合わせ先 : 鈴鹿サーキット Tel.059-378-1111(代表)
URL : www.suzukacircuit.jp



富士スピードウェイ

第4戦 7月16日(土)・17日(日) / FSC※ 11月12日(土)・13日(日)
所在地 : 〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
問い合わせ先 : 富士スピードウェイ本社 Tel.0550-78-1234(代表)
: 富士スピードウェイ東京営業所 Tel.03-3556-8511(代表)
URL : www.fujispeedway.co.jp

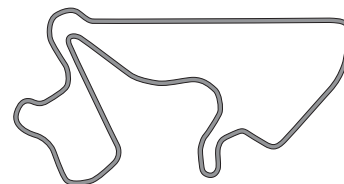
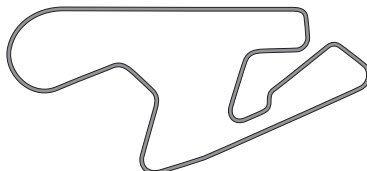


ツインリンクもてぎ

第2戦 5月14日(土)・15日(日) / 第5戦 8月6日(土)・7日(日)
所在地 : 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町楡山120-1
問い合わせ先 : ツインリンクもてぎ Tel.0285-64-0001(代表)
URL : www.twinring.jp

スポーツランドSUGO

第6戦 9月24日(土)・25日(日)
所在地 : 〒989-1394 宮城県栗田郡村田町菅生6-1
問い合わせ先 : スポーツランドSUGO Tel.0224-83-3111(代表)
URL : www.sportsland-sugo.co.jp



オートポリス

第3戦 6月4日(土)・5日(日)
所在地 : 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
問い合わせ先 : オートポリス Tel.0973-55-1111(代表)
URL : www.autopolis.jp

シリーズパドックパス

■販売価格

- ・70,000円(税込)
- ・80,000円(シリーズ全7戦特別駐車券1枚付き、税込)【50枚限定】

■パス内容

1. 2011年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン全7戦への入場
2. パドックエリアへの入場
3. ピットウォーク、決勝前グリッドへの入場
4. グランドスタンドでの観戦
 - *富士スピードウェイ：一部有料エリアは別途料金
 - *鈴鹿サーキット、ツインリンクもてぎ：チームサポーターズシートは別途料金
5. 公式合同テストへの入場
6. シーズンエンドパーティーおよびシリーズ表彰式への参加
7. 日本レースプロモーション(JRP)主催イベントへの参加
8. オリジナル記念品のプレゼント
9. シリーズ全7戦特別駐車券1枚付き(※80,000円パスのみ)
 - *スポーツランドSUGO:SP広場/ツインリンクもてぎ:第4パドックもしくはスーパースピードウェイ/
 - *富士スピードウェイ:P18/鈴鹿サーキット:交通教育センター内専用駐車場/オートポリス:関係者駐車場
10. 毎戦プログラムプレゼント(配付は開催サーキット現地に限りです)
 - ※鈴鹿サーキットでは激観エリアにご入場いただけます。
 - ※グリッド上の安全管理の観点から、ご購入時点で16歳以上のお客様に限らせていただきます。
 - ※特別駐車券で使用可能な駐車エリアは、予告なく変更となる可能性があります。

■申込方法

申込用紙に必要事項をご記入いただき、証明写真2枚(カラー/2.4cm×3cm)、年齢を確認できるもののコピー(免許証、保険証、パスポート等)及びパス代金を同封の上、下記あて先まで現金書留にてご郵送下さい。

- 写真は必ず証明写真でお願いいたします。プリント写真等では、色が鮮明に出ません。
- お申込みの際、送料はお客様のご負担となりますので何卒ご了承下さい。

【あて先】

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
株式会社日本レースプロモーション シリーズパドックパス係

■パスのお届け

シリーズパドックパスのお届けは、料金のお支払い確認後に発送いたします。パスの製作にお時間をいただきますので、各大会、公式合同テストの日程に間に合わない場合は、暫定パスを発行いたします。その後、ご使用になられた暫定パスを弊社までご返却後、正式パスをお届けいたします。

■お申込受付期間

2011年2月21日(月)より順次受付開始

- *シリーズ途中でもお申込み頂けます。ただし、シリーズ途中のお申込につきましては、料金割引はございませんので、予めご了承の上お申し込み下さい。

TV放映予定

今年のフォーミュラ・ニッポンは、昨年に引き続きBSフジにて放映が決定しました。

放映時間は、レース翌週金曜日23:00からを基本とし、再放送も各放送回につき1回行います。

また、ライブ中継放送は毎戦J SPORTSにて放送されます。

※番組放映日、時間は予告なく変更となる可能性がございますので、フォーミュラ・ニッポンオフィシャルweb (www.f-nippon.co.jp)にてご確認下さい。

レース	開催日	サーキット	放送予定
第1戦	4/16~17	鈴鹿サーキット	4/22(金) 23:30~ (再放送) 4/23(土) 11:00~
第2戦	5/14~15	ツインリンクもてぎ	5/20(金) 23:00~ (再放送) 5/21(土) 11:00~
第3戦	6/4~5	オートポリス	6/10(金) 23:00~ (再放送) 6/11(土) 11:00~
第4戦	7/16~17	富士スピードウェイ	7/22(金) 23:00~ (再放送) 7/23(土) 11:00~
第5戦	8/6~7	もてぎ	8/12(金) 23:00~ (再放送) 8/13(土) 11:00~
第6戦	9/24~25	スポーツランドSUGO	9/30(金) 23:00~ (再放送) 10/1(土) 11:00~
第7戦	11/5~6	鈴鹿サーキット	11/11(金) 23:00~ (再放送) 11/12(土) 11:00~
特別戦	11/12~13	富士スピードウェイ	調整中

※放送時間は、変更になる場合がございます。

シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

2011年

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社
<http://www.honda.co.jp/>

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
<http://www.toyota.co.jp/>

Series Supporter

BRIDGESTONE

株式会社ブリヂストン
<http://www.bridgestone.co.jp/>

Promotion Partner

人気酒造
NINKI-ICHI

人気酒造株式会社
<http://www.ninki.co.jp/>

●本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社日本レースプロモーション

〒102-0074

東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル 3F

担当：石原

Tel : 03-3237-0131 Fax : 03-3237-0135

<http://www.f-nippon.co.jp/>